

製品名: TAB1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86404**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50 |
| 分子量 | Calculated MW:55 kDa; Observed MW:55 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------|
| 遺伝子名 | TAB1 |
| 別名 | 3'-Tab1; MAP3K7IP1 |
| 遺伝子ID | 10454 |
| SwissProt ID | Q15750 |
| 免疫原 | ヒトTAB1の合成ペプチド |

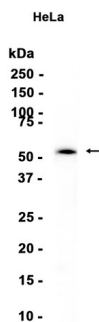
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TGFβ、インターロイキン1、WNT-1などによって誘導されるさまざまな細胞内シグ

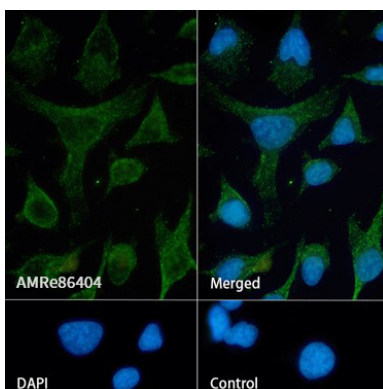
ナル伝達経路を媒介することが知られている MAP キナーゼキナーゼキナーゼ MAP3K7/TAK1 の調節因子として同定されました。このタンパク質は TAK1 キナーゼと相互作用し、活性化します。このタンパク質の C 末端部分は TAK1 の結合と活性化に十分であることが示されており、N 末端の一部は TGFβ の優性負性阻害剤として作用することから、このタンパク質は TGFβ 受容体と TAK1 の間のメディエーターとして機能する可能性があります。このタンパク質は、マイトジェン活性化プロテインキナーゼ 14 (MAPK14/p38alpha) と相互作用して活性化することもできるため、MAPKK 経路に加えて、さまざまな刺激に対する MAPK14 の生物学的応答に寄与する代替活性化経路となります。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写変異体が報告されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

画像データ



TAB1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。



AMRe86404 で TAB1 を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。